

だんだんひどくなるばかり ～原発事故 7 年後の福島～

福島第一原発立地
大熊町唯一の
脱原発町議会議員

木幡ますみさんが

こ わ た

語ります



大熊町の状況（大熊町復興サイトより）



全町民11,505人が町外への避難生活を余儀なくされ、いわき市、会津若松市等を中心に福島県内に約7割が避難。その他、埼玉県、茨城県、東京都等にも及ぶ。

町役場は約100km西に位置する会津若松市、南に約40kmに位置するいわき市に移転し、行政運営。

福島第一原発事故により
全町民が避難を余儀なくされた大熊町

生活基盤が根こそぎ奪われ
避難生活が続く町民
高レベルの放射能汚染が続く町

人々の暮らしと町の現状について
現地の方のナマの声を聞きましょう

フクシマの実態を知り
原発事故の被害を受止め
解決への道を共に考えましょう

6月24日（土）

14時～17時

西東京市柳沢公民館 視聴覚室

（西武新宿線西武柳沢駅南口徒歩1分）

申込不要・先着80人

資料代 100円

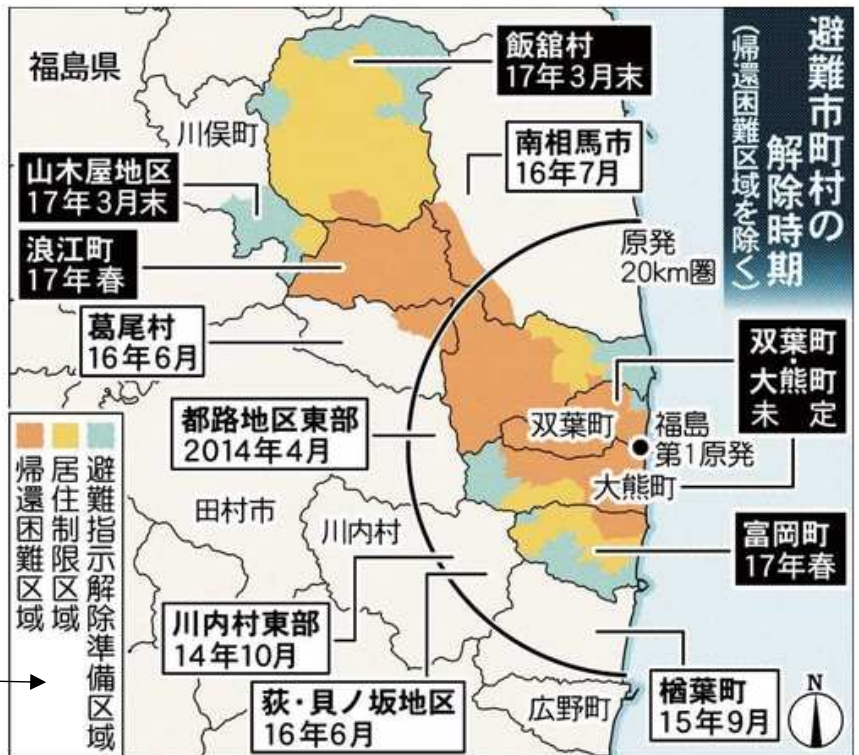
企画実施団体●原発はいらない西東京集会実行委員会
ブログ●<http://nonuke-ntyo.cocolog-nifty.com/>
連絡先●柳田 ☎042-461-3246

木幡ますみさん プロフィール

いわき市の仮設住宅で避難生活を送る木幡ますみさんは、2015年11月の町議会選挙で当選（12名中第2位）、唯一の脱原発議員、女性議員として、奮闘されています。大熊町の明日を考える女性の会代表。



写真：週刊女性 prime より引用



帰還困難区域：年50ミリシーベルトを超え、5年間経過後も年20ミリシーベルトを下回らないおそれのある地域。

居住制限区域：年20ミリシーベルトを超えるおそれのある地域。

避難指示解除準備区域：年20ミリシーベルト以下となる地域。

避難指示が解除された自治体の住民の帰還状況

	帰還者数(人)	帰還率(%)	避難指示解除の時期
田村市都路地区東部	231	72.4	2014年4月
川内村東部	62	19.9	14年10月 16年6月
楢葉町	737	10.0	15年9月
葛尾村	102	7.6	16年6月
南相馬市小高区など	1,231	11.8	16年7月

[注] 葛尾村と南相馬市小高区は帰還困難区域を除く

山積みのフレコンバッグ(楢葉町 解除地区)



News ポストセブンより引用
2017年3月



当会主催 パネル展「忘れないで 福島」

福島在住の写真家飛田晋秀(ひだしんしゅう)さん写真展を中心に、福島状況を伝えます。飛田さんは、木幡さんと同行し、原発事故後のフクシマの写真を撮り続けていらっしゃいます。

6月19日(月)~6月25日(日)9時~22時
(初日12時~最終日17時まで)
柳沢公民館ロビー/無料

原発はいらない西東京集会
実行委員会

原発のない社会の実現を目指して活動する個人参加のグループです。
ご一緒に活動できる方はご連絡ください。